

『笠松山・世田山ハイキング～春の訪れを感じよう～』

実施日時：平成 25 年 3 月 2 日（土） 10:00～16:00

場 所：笠松山・世田山（愛媛県今治市朝倉）

参 加 者：36 名

天 候：曇り時々晴れ

内 容：笠松山・世田山の自然について、2008 年 8 月に山林火災のあった笠松山の復旧の様子を見学し、笠松山・世田山の植生であるアカマツ林やそれを特徴つける樹木やコケ植物、シダ植物を観察しました。また、笠松山の麓にある野々瀬古墳群の見学や、南北朝時代、古戦場になった世田山城跡などの歴史についても解説を聞きました。

【実施風景】



笠松山へ向けて出発

集合場所の今治市朝倉支所から出発して笠松山へ向けハイキング途中の様子です。奥に見える山が笠松山です。



野々瀬古墳群

笠松山の麓にある野々瀬古墳群のうち五間塚古墳と七間塚古墳を見学しました。

五間や七間とは大きさを表す単位だそうです。



七間塚古墳

実際に古墳の中に入ることも出来ます。入口は狭いですが、石室は全長 10m、高さは 2m もあります。



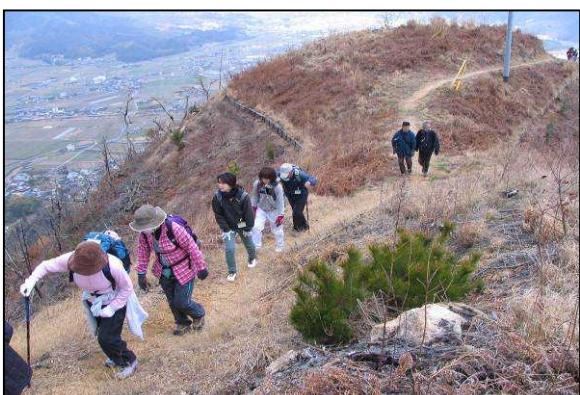
笠松山の・世田山の植生について解説

山林火災にあう前の笠松山の植生はどのようなものだったか。
講師が、笠松山の周辺にある山と比べて
笠松山の植生について説明をしていま
す。



笠松山の下層植生について解説

笠松山の登山口から少し上った辺りで、
ヒノキ林の下層に生えるコシダとウラ
ジロの説明を聞いています。



山火事後の笠松山

2008 年に山林火災のあった笠松山の復旧状況を見ながら登っていきます。手前には、植栽されたアカマツ見えます。後方の山腹斜面には火災で焼け枯れた樹木が見られます。



笠松山山頂からの景色

笠松山山頂からの景色は絶景です。そこから見える来島海峡大橋や瀬戸内の島々の歴史についても講師から解説して頂きました。



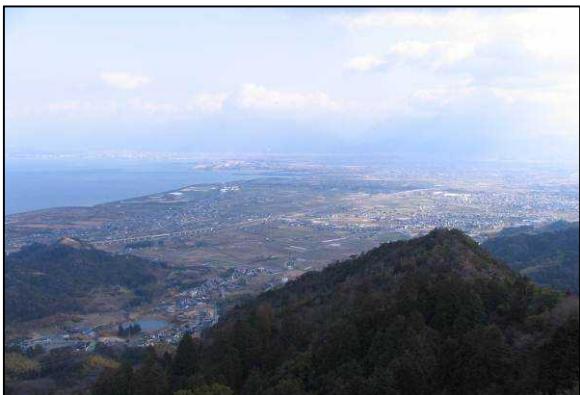
笠松山から世田山へ

笠松山から尾根沿いに世田山へ向かいます。ここが難所の急傾斜地ですが、みなさんしっかりと歩いて登っています。



地衣類 ハナゴケ科 トゲシバリ

アカマツ林特有の地衣類トゲシバリ。アカマツ林のような、痩せた土地でも光が下層まで届くことや乾燥に強いことなどの条件から生育することができます。



世田山頂上からの眺め

世田山頂上からは、愛媛県西条市、新居浜市、四国中央市など東予を見渡すことが出来ました。また、残念ながら石鎚山はかすみ見えませんでしたが、迫力のある四国山地を見ることが出来ました。



古生代から続くシダ植物 その1

オシダ科 メヤブソテツ

下山途中に見つけた常緑のシダ植物。

このメヤブソテツは愛媛県のレッドデータブックの準絶滅危惧（NT）に指定されています。

古生代から生き続けているシダ植物も絶滅の危機に瀕しています。



古生代から続くシダ植物 その2

オシダ科 ハカタシダ

葉の中央に黄色い斑があり、とても美しいシダです。

博多織の模様のように見えることや葉が硬いということから『ハカタシダ』と名付けられたそうです。



集合写真

笠松山・世田山ハイキングを通じて歴史や自然について魅力をたっぷりとお伝えできたかと思います。

実際に、自分で歩いて、目で見て、耳で聞いて、感じて、いかがだったでしょうか？

ご参加された皆様、お疲れ様でした。